

Tanium の Total Economic Impact™

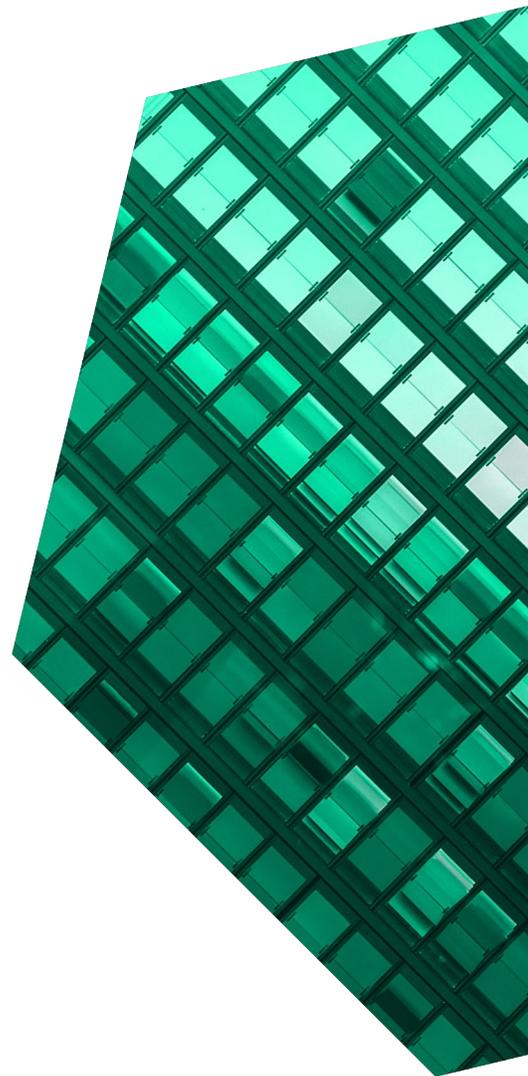
コスト節減およびビジネス上の利益
Tanium エンドポイント管理および
セキュリティプラットフォームによる実現

2021年10月

Table Of Contents

コンサルティングチーム： Tsih Formuluh

エグゼクティブサマリー	1
Tanium のカスタマージャーニー	6
主な課題	6
ソリューションの要件/投資目標	7
モデル組織	7
利益の分析	8
ツール統合の節約	8
アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約	9
エンドポイントセキュリティ/管理の FTE の効率化による節約	10
非定量的利益	11
柔軟性	12
コスト分析	13
Tanium ソフトウェアコスト	13
社内企画・トレーニング・導入コスト	14
財務状況概要	16
付録 A：Total Economic Impact（TEI、総経済効果）	17
付録 B：脚注	18



FORRESTER CONSULTING について

Forrester Consulting は、独立した客観的なリサーチに基づいたコンサルティングを提供し、リーダーたちの組織における成功を支援しています。詳細については、forrester.com/consulting をご覧ください。

© Forrester Research, Inc. 無断複写・複製・転載を禁じます。本書を無断で複製することは固く禁じられています。本書の内容は、入手可能で最適な情報源に基づいています。ここに記した見解は、調査時点でのものであり、最新の情報とは異なる場合があります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadar、Total Economic Impact は、Forrester Research, Inc. の商標です。その他すべての商標は、各社に帰属します。

エグゼクティブサマリー

Tanium は、単一のプラットフォームからエンドポイントにいたるまで、組織の保護・管理業務を支援します。**Tanium** プラットフォームは、エンドポイントが組織のネットワークに接続されると、それがどこに存在するのかを識別し、可視性を提供する基礎となるコアから始まります。これを基盤として、組織が可視性を維持し、大規模かつ高速にエンドポイントを管理・制御するのに役立つモジュールが構築されており、**Tanium** は、セキュリティとリスク軽減の機能を備えたエンドポイント管理ツールとなっています。

Tanium のエンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームは、組織のエンドポイントがどこに存在しても、アクセスとインテリジェンスを可能にし、リアルタイムの可視性、コンテキスト、およびより良い管理とセキュリティ環境のためのアクションを迅速に実行可能です。

Tanium は Forrester Consulting に依頼して Total Economic Impact™ (TEI) 調査を実施し、**Tanium** のプラットフォームを展開することによって企業が実現する投資収益率 (ROI) を検証しました。¹ 本調査の目的は、読者に **Tanium** が組織に及ぼす潜在的な財務的影響を評価するための枠組みを提供することです。

この投資に関する利益、コスト、リスクをよりよく理解するために、Forrester は、**Tanium** のエンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームの使用経験を持つ4人の意思決定者にインタビューを行いました。Forrester は、インタビューの回答者である顧客の体験を集計し、財務分析のベースラインとなる結果を1つの モデル組織の回答 としてまとめました。

これらのインタビューによると、**Tanium** を使用する前に、彼らの組織は複数のサイロ化したソフトウェアソリューションを採用し、エンドポイントの管理とセキュリティのために他の手動プロセスを使用していたとのことでした。しかし、これまでの試みでは、エンドポイントが特定できず、環境の範囲もよくわからないままでした。こうした制約により、管理・セキュリティ対策が必ずしも保証されていないため、脆弱な環境になっていました。

主な統計情報



投資利益率 (ROI)

277%



正味現在価値 (NPV)

391 万ドル

Tanium への投資後、インタビュー対象企業は、組織内の98%以上のエンドポイントを特定し、可視化することができました。この投資による主な成果としては、組織内の環境をより明確に理解し、エンドポイントを正確に管理してセキュリティを確保する能力を向上できたことが挙げられます。

主な調査結果

定量的な効果。 リスク調整された現在価値 (PV) の定量化された効果には、以下のようなものがあります。

- **ツール統合で 250 万ドル以上の削減を実現。**

Tanium は、インタビュー対象企業がエンドポイントの識別、管理、およびセキュリティに使用していたサイロ化されたポイントソリューションの数を減らしました。モデル組織の場合、1年目に 4 つのツールを、2年目にもう 1 つのツールを排除することで、3年間で 250 万ドルの節約につながります。

- **アイドル状態のソフトウェアライセンスの再生利用により 170 万ドルの節約。** エンドポイントにインストールされた Tanium の軽量エージェントにより、インタビュー対象企業は、使用されていない、またはアイドル状態のソフトウェアを各エンドポイントでスキャンする能力を得ました。不要なライセンスを特定して削減するこ

とで、モデル組織の場合、3年間で 170 万ドル以上の節約になります。

- **FTE の効率化による 120 万ドルの節約。** インタビュー回答者は、自分たちの環境を管理し、セキュリティを確保するために、より多くの FTE が必要であると述べています。Tanium は、効率、パフォーマンス、および意思決定を改善するためにツールを統合し、顧客が IT リソースを戦略的プロジェクトに再配置したり、人員管理によるコスト回避を実現したりすることで、プロセスの実行を改善しました。また、Tanium は、システムスキャンやパッチ適用など、他のツールで手動または非効率に行っていた多くの作業を自動化しました。これにより、モデル組織は 3年間で 120 万ドル近くを節約することができます。

Tanium は、ネットワーク上で永続性を持てるのが大きな利点です。ネットワーク上に散在し、そのサブネット内のすべてのエンドポイントでエージェントがアクティブに有効になっていることを確認することができます。これは、今の他のツールにはないもので、間違いなく Tanium を際立たせているものです。」

— 金融サービス部門グローバルインフラストラクチャ & テクノロジーオペレーション担当副社長

定性的利益。本調査のうち、定量化できない利益には、以下のようなものがあります。

- **環境内のすべてのエンドポイントの98%以上を可視化。** Tanium は、リニアチェーンアーキテクチャを採用しており、すべてのエンドポイントが、その LAN にリンクしているすべてのエンドポイントを発見するためのベクトルとなります。このパラダイムは、障害が発生したり、利用できないリレーサーバーがある場合でも、ディスカバリーが行われることを保証します。企業は目に見えるものしか管理できないため、98%以上のエンドポイントを可視化することで、環境内の管理とセキュリティの成果をより確実なものにすることができました。
- **エンドポイントにTaniumのエージェントが存在するため、効率的な脆弱性スキャンが可能。** リニアチェーンアーキテクチャとエンドポイント上の軽量な Tanium エージェントは、各管理対象エンドポイントが、近隣のマシンの現在の状態に関する簡潔な更新情報を得るために Tanium サーバーに定期的にアクセスすることによって、ネットワーク上の近隣マシンの認識を維持することを保証します。このため、インタビュー対象企業は、データ侵害や稼働停止による業務中断を引き起こす可能性のある脆弱性をすばやく特定して修正する手順が容易になりました。
- **セキュリティチームとオペレーションチームのコラボレーションを促進。** IT 運用チームとセキュリティチームは、共通のコンソールとエンドポイントデータセットを使用し、コラボレーションを容易にするスピードで、真のシングルソースとして機能しました。

コスト。 リスク調整後の PV コストには以下のものがあります。

- **Tanium のソフトウェアコストは、3年間で130万ドル。** これには、Tanium Core（年間20万ドル）および運用/セキュリティバンドルとなる5つのモジュール（年間30万ドル）のコストが含まれています。

- **社内企画、トレーニング、導入コストは、3年間で11万ドル。** モデル組織の場合、ハードウェアと概念実証（POC）の初期コストに6万ドル、導入と従業員へのプラットフォームの使用訓練に5万ドルを費やします。

意思決定者へのインタビューと財務分析の結果、モデル組織の場合、3年間で140万ドルのコストに対して530万ドルの利益があり、正味現在価値（NPV）は390万ドル、ROIは277%であることが明らかになりました。



投資利益率 (ROI)

277%



利益の現在価値 (PV)

530 万ドル



正味現在価値 (NPV)

390 万ドル



回収期間

6 か月未満

利益 (3 年間)

ツール統合による節約

250 万ドル

アイドル状態のソフトウェア再生
利用による節約

170 万ドル

「エンドポイントセキュリティ」
管理の **FTE** の効率化

120 万ドル

TEI のフレームワークと調査手法

Forrester は、インタビューで得られた情報から、Tanium のエンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームへの投資を検討している組織を対象に、Total Economic Impact™（総合的な経済効果）のフレームワークを構築しました。

このフレームワークの目的は、投資の意思決定に影響するコスト、利益、柔軟性、およびリスク要因を特定することです。Forrester は、Tanium が組織に与える影響を評価するために、多段階のアプローチを取りました。

開示事項

以下の点に注意してお読みください。

本調査は、Tanium の委託を受け、Forrester Consulting が実施したものです。本書は競合分析としての利用を意図するものではありません。

Forrester は、他の組織が受け取るであろう潜在的な ROI については、一切の想定をしていません。Forrester は、読者が Tanium エンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームへの投資の妥当性を判断するために、本調査で提供されたフレームワーク内で独自の推定を行うことを強くお勧めします。

Tanium は Forrester に検討とフィードバックを行いました。Forrester は調査とその結果に対する編集上のコントロールを維持し、Forrester の発見と矛盾する、あるいは調査の意味を不明瞭にするような調査の変更は受け付けません。

Tanium は、インタビュー向けに顧客名を提供しましたが、インタビューには参加していません。



適正評価

Tanium 関係者や Forrester のアナリストにインタビューを行い、Tanium のエンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームに関するデータを収集しました。



企業の意思決定者へのインタビュー

エンドポイント管理とセキュリティのプラットフォームである Tanium を使用している企業の意思決定者 4 人にインタビューを行い、コスト、利益、リスクに関するデータを取得しました。



モデル組織

インタビュー対象の組織特性に基づき、モデル組織を作成しました。



財務モデルのフレームワーク

TEI 手法を用いて、インタビュー回答者を表す財務モデルを構築し、意思決定者の課題や懸念に基づいて財務モデルのリスク調整を行いました。



事例紹介

TEI の 4 つの基本要素である利益、コスト、柔軟性、およびリスクを採用して投資の影響をモデル化しました。Forrester の TEI 手法は、ROI 分析が高度化していることを考慮して、購入判断の総合的な経済効果を完全に網羅していません。TEI 手法の詳細については付録 A をご参照ください。

Tanium のカスタマージャーニー

Tanium エンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームへの投資を促す要素

企業意思決定者へのインタビュー

回答者	業種	年間収益	管理対象エンドポイント数
セキュリティ担当役員	アグリビジネス分野	1,140 億ドル	100,000
セキュリティ・運用技術部長	製造	130 億ドル	57,000
IT ディレクター	金融サービス	80 億ドル	25,000
グローバルインフラストラクチャ&テクノロジーオペレーション担当副社長	金融サービス	690 億ドル	100,000

主な課題

インタビュー対象企業に共通してみられた課題には、以下のようなものがありました。

- **エンドポイントの数がわからない。** IT チームは、組織内の環境に存在するエンドポイントの数を正確に把握することができず、何千ものエンドポイントに対するソフトウェアやパッチの管理、在庫管理、配布を困難にしていました。そのため、ソフトウェアのバージョンが混在し、ネットワーク内の不備による情報漏えいや業務停止などの脆弱性が頻繁に発生していました。
- **サイロ化したセキュリティと運用のツールやプロセスを使用している。** IT セキュリティチームと運用チームが独立して機能し、目標、ツール、プロセスが一致していなかったため、よく互いの業務活動に干渉していた。
- **セキュリティと運用のための専用のポイントソリューションが多すぎる。** また、IT チームが縦割りですべての作業をしていたため、ポイントソリューションが多数あり、組織の環境を管理することが困難でした。さらに非常に狭い範囲のポイントソリューションの操作を学ぶために、多くの FTE の時間を費やしていました。

- **高価で独占的なポイントソリューションを使用している。** 多くの組織のポイントソリューションは、非常に高価で独占的なものでした。中には、使用中のエンドポイントを混乱させ、ビジネスユニットのコア機能の効率的な実行を妨げるツールもありました。

脆弱性管理の分野では、高価なポイントソリューションがありました。ネットワーク上の脆弱性をスキャンし、工場や生産設備があるような機密性の高いネットワークにアクセスするたびに、装置を壊したり、時には停電を起こしたり、さまざまな問題が発生しました。これにとって代わるものが必要だったのです。気に入ったのは、**Taniumがすでにデバイスに搭載されていることです。**」

— アグリビジネス、セキュリティディレクター

ソリューションの要件/投資目標

インタビュー対象企業では、以下の項目を解決する方法を模索していました。

- IT環境内のすべてのエンドポイントを発見し、可視性を維持しやすくします。
- 新しいソフトウェアやパッチを迅速かつ正確に導入できるようにします。
- 脅威や侵入に備え、より簡単かつ迅速にエンドポイントを管理・保護する方法を提供します。
- 信頼できるソリューションを適正な価格で提供します。

複数のベンダーを評価する RFP とビジネスケースのプロセスを経て、インタビュー対象企業は Tanium を選択し、導入を開始しました。

- インタビュー対象企業の 4 社すべてが、導入に際して段階的なアプローチをとることにしました。それぞれ、Tanium Core から始めて、それぞれの業界で最も重要なモジュールに拡張していったのです。
- インタビュー対象企業のうち、3 社はセキュリティ関連のモジュールから始め、1 つはオペレーション関連のモジュールから始めています。
- 投資 2 年目には、インタビュー対象の各企業ともセキュリティとオペレーションの両方をカバーするモジュールに拡張しています。平均してそれぞれ 5 つのモジュールを追加しました。

主な想定条件

- 収益 10 億ドル
- 年間 Tanium 使用料 50 万ドル
- Tanium Core と 5 つの追加モジュールを使用
- セキュリティモジュールとオペレーションモジュールの両方を展開

モデル組織

インタビューに基づき、Forrester は TEI フレームワーク、モデル組織、ROI 分析を構築し、財政的に影響する領域を具体的に示しました。モデル組織とは、Forrester が意思決定者に対するインタビュー調査を実施した 4 社を代表する組織であり、次のセクションで財務分析の総合結果を表すために使用されています。モデル組織の特性は以下のとおりです。

モデル組織の説明。 モデル組織は、消費者向け製品の販売、カスタマーサポート、サービス/保証サポートを仮想的および物理的に提供する、国際的な 10 億ドル規模の B2C サービス組織です。強力なブランド力、国際的な事業展開、約 1,000 万人の大規模な顧客基盤、オンラインとオフラインでの強力なプレゼンスを持っています。その製品の平均価格は 80 ドルです。

導入の特徴。 このモデル組織は 30 か所の地域事務所と 18,000 人の従業員を抱え、国際的に事業を展開しています。新しい国際市場に参入するため、数年ごとに 1~2 社程度の買収を行い、事務所を増やしています。

利益の分析

このモデル組織に適用される定量化利益データ

総利益						
基準	利益	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Atr	ツール統合による節約	850,000 ドル	1,062,500 ドル	1,062,500 ドル	2,975,000 ドル	2,449,098 ドル
Btr	アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約	684,000 ドル	684,000 ドル	684,000 ドル	2,052,000 ドル	1,701,007 ドル
Ctr	エンドポイントセキュリティ/管理のFTEの効率化による節約	474,240 ドル	474,240 ドル	474,240 ドル	1,422,720 ドル	1,179,365 ドル
	総利益（リスク調整済み）	2,008,240 ドル	2,220,740 ドル	2,220,740 ドル	6,449,720 ドル	5,329,470 ドル

ツール統合の節約

エビデンスとデータ。 Tanium に投資する前、インタビュー対象企業はセキュリティと運用のタスクに、複数のサイロ化したツールを使用していました。これらのツールでは管理・追跡が困難でした。

- アグリビジネス業界のセキュリティ担当者はこのように語っています。「Tanium を導入する前は、多くのポイントソリューションがありました。脆弱性スキャン専用ソリューション、ネットワークスキャン専用ソリューション、そしてハンティングや脅威を防ぐ専用ソリューション、その他、複数のソリューションがありました。」
- 同じインタビュー回答者が以下のように述べていました。「自社でのセキュリティの使用事例として Tanium を活用し始め、拡大していきました。セキュリティの領域でできることはほとんどやったので、今は運用の領域に少しずつ入っています。ポイントソリューションをさらに減らすため、モジュールをいくつか追加購入するかもしれません。Tanium を導入したことで、他のポイントソリューションに費やしていた 100 万ドル以上のコストを削減できました。」

モデリングと前提条件。 この利益をモデル化するために、Forrester はモデル組織について次のように仮定しています。

- モデル組織では、Tanium を導入する前に、7 つの独立したポイントソリューションをベースラインとして使用していました。
- このモデル組織は、1年目に 4 つのサイロポイントソリューションを排除し、2年目までにさらに 1 つを排除し、Tanium プラットフォームと他の 2 つのバックアップソリューションだけを残します。
- レガシーポイントソリューションの平均年間コストは 25 万ドルです。

リスク。 こうしたメリットに影響を与える可能性のある変数には、以下のものがあります。

- 組織の IT 環境の複雑さと、使用されているレガシーポイントソリューションの数。
- Tanium が交換する各レガシーポイントソリューションの平均コスト。
- 組織が属する業界。
- 組織がその環境をサポートするために必要な Tanium モジュール。

結果。 これらのリスクを考慮し、Forrester はこの利益を 15% 下方修正し、3 年間のリスク調整済み PV 総額（10% で割引）を 250 万ドルとしました。

ツール統合の節約

基準	評価項目	ソース	1年目	2年目	3年目
A1	Taniumを導入する前に使用していたレガシーツールの平均数	インタビュー	7	7	7
A2	Tanium導入後のレガシーツールの平均数	インタビュー	3	2	2
A3	廃止されたツール数	A1~A2	4	5	5
A4	レガシーツール1台あたりの平均コスト	インタビュー	250,000ドル	250,000ドル	250,000ドル
At	ツール統合による節約	A3*A4	1,000,000ドル	1,250,000ドル	1,250,000ドル
	リスク調整	↓15%			
Atr	ツール統合による節約（リスク調整済み）		850,000ドル	1,062,500ドル	1,062,500ドル
3年間の合計：2,975,000ドル			3年間の現在価値：2,449,098ドル		

アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約

エビデンスとデータ。 Taniumにより、管理されていない資産とその中にロードされたソフトウェアの環境を調査できるようになったとインタビュー対象者は答えています。また、管理しているエンドポイントにある未使用のソフトウェアを発見することもできました。その結果、ライセンスのボリュームを適正化できるようになり、組織のコストを節減することができました。

アグリビジネス業界のセキュリティ担当者はこのように語っています。「Taniumでは、企業独自のあらゆる情報を収集するためのカスタムコンテンツを作成することができます。例えば、研究開発部門で使用する高価なアプリケーションで、ライセンス料が一人当たり15,000ドルかかるような場合、ライセンス使用料はどのようになるのでしょうか？そのため、ライセンス管理やライセンスレポートを行い、その手助けをしています。」

モデリングと前提条件。 この利益をモデル化するために、Forresterはモデル組織について次のように仮定しています。

- モデル組織は、その環境内でライセンス数の多い8つのアプリケーションを特定します。

- Taniumを使用することで、管理されているエンドポイントと以前は管理されていなかったエンドポイントの両方で、1,000のアイドルライセンスをスキャンして特定することができます。
- アイドルライセンスの平均コストは95ドルです。

リスク。 こうしたメリットに影響を与える可能性のある変数には、以下のものがあります。

- 組織が使用するライセンスアプリケーションの平均数。
- 節減または廃止されるアプリケーションのライセンスコスト。
- どれだけのライセンスを購入し、維持するかについての組織の内部統制。

結果。 これらのリスクを考慮し、Forresterはこの利益を10%下方修正し、3年間のリスク調整後の総PVは170万ドルとしました。

アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約					
基準	評価項目	ソース	1年目	2年目	3年目
B1	発見された未使用アプリケーションの平均数	インタビュー	8	8	8
B2	アプリケーションごとの平均未使用ライセンス数	インタビュー	1,000	1,000	1,000
B3	未使用ライセンスあたりの平均コスト	インタビュー	95ドル	95ドル	95ドル
Bt	アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約	$B1 \times B2 \times B3$	760,000ドル	760,000ドル	760,000ドル
	リスク調整	↓10%			
Btr	アイドル状態のソフトウェア再生利用による節約 (リスク調整済み)		684,000ドル	684,000ドル	684,000ドル
3年間の合計：2,052,000ドル			3年間の現在価値：1,701,007ドル		

エンドポイントセキュリティ/管理の FTE の効率化による節約

エビデンスとデータ。 Tanium は、インタビュー対象企業の IT 機能の統合を支援し、多くのエンドポイントセキュリティと管理タスクを自動化しました。これにより、環境内のエンドポイントを管理し、セキュリティを確保するために必要な FTE の時間が短縮されました。

- アグリビジネス業界のセキュリティ担当者はこのように語っています。「昨年、他のポイントソリューションからそれぞれ 1~2 人の FTE を再配置することができ、Tanium 側には 1 人の FTE を追加しただけでした。」
- ある製造業のセキュリティ・運用技術担当者はこのように述べています。「パッケージの準備と配備を 2 人で行っています。また、通常、レポートの作成も管理し、他のオペレーションチームをサポートしています。Tanium 以前の従来環境では、少なくとも 3 倍以上の FTE が必要でした。」

モデリングと前提条件。 この利益をモデル化するために、Forrester はモデル組織について次のように仮定しています。

- 以前は、8 人の FTE が 2,080 時間ずつ働き、ポイントソリューションやその他の手動プロセスを使ってレガシー環境を管理していました。
 - Tanium を導入した後、Tanium のリニアチェーンアーキテクチャを使用した自動化とソフトウェア展開のスピードによる効率化により、5 人の FTE が他の生産的なタスクに割り当てられるようになりました。
 - FTE の全経費込の時給は 48 ドルです。
- リスク。** こうしたメリットに影響を与える可能性のある変数には、以下のものがあります。
- 組織がその環境内で使用しているポイントソリューションの数と複雑さ。
 - 配置転換される FTE のスキル。
 - Tanium プラットフォームを操作する FTE のスキル。
 - 組織の IT 環境の規模、およびその中に存在する基本的な非効率性。
 - FTE の給与率。

結果。 これらのリスクを考慮し、Forrester はこの利益を 5% 下方修正し、3 年間のリスク調整後の総 PV は 120 万ドルとしました。

エンドポイントセキュリティ/管理の FTE の効率化による節約

基準	評価項目	ソース	1 年目	2 年目	3 年目
C1	Tanium を導入する前に費やした FTE の時間 (時間数)	モデル組織	16,640	16,640	16,640
C2	Tanium 導入後に費やした FTE の時間 (時間数)	モデル組織	6,240	6,240	6,240
C3	節約された FTE の時間 (時間数)	B1~B2	10,400	10,400	10,400
C4	FTE の時間単価	想定条件	48 ドル	48 ドル	48 ドル
Ct	エンドポイントセキュリティ/管理の FTE の効率化による節約	C3*C4	499,200 ドル	499,200 ドル	499,200 ドル
	リスク調整	↓5%			
Ctr	エンドポイントセキュリティ/管理の FTE の効率化による節約 (リスク調整済み)		474,240 ドル	474,240 ドル	474,240 ドル
3 年間合計 : 1,422,720 ドル			3 年後の現在価値 : 1,179,365 ドル		

非定量的利益

この他に、定量化されていないものの、顧客企業で認められた利益は以下のとおりです。

- **環境内のすべてのエンドポイントの 98%以上を可視化。** Tanium は、単一の軽量なエージェントを通じて個々のエンドポイントに直接管理インテリジェンスを分散させることにより、ハブ&スポークアーキテクチャの制限を克服しています。

各管理下のエンドポイントは、定期的に Tanium サーバーにアクセスして、近隣のマシンの現在の状態に関する簡潔な更新を取得することによって、ネットワーク上の近隣のマシンの認識を維持します。

この相互作用により、各エンドポイントと最適なクライアントが自動的にペアリングされ、エンドポイントからの情報を受け取りながら、その情報を別のエンドポイントに受け渡すことができます。このプロセスにより、効率的に連鎖した一連のエンドポイントが形成され、ネットワーク全体の各エンドポイントにクエリーやアクションを容易に伝搬させることができます。

サーバーは、これらの線形チェーンに沿った少数のエンドポイントに情報を送り、チェーンの終点にあるエンドポイントから集計結果を収集するだけです。これにより、ハブ&スポーク型アーキテクチャの欠点を解消し、高速化とスケラビリティの向上を実現しました。

Tanium は、LAN 外のエンドポイントもスキャンでき、リモートエンドポイント（在宅勤務環境など）の特定、保護、管理も可能です。

- **エンドポイントに Tanium のエージェントがあるので、効率的な脆弱性スキャンを提供可能。** リニアチェーンアーキテクチャとエンドポイント上の軽量な Tanium エージェントは、リスク軽減を強化します。より高い可視性と制御性により、Tanium のプラットフォームは、顧客が脆弱性を発見し、是正することを可能にします。これにより、情報漏えいや業務停止などの頻度、期間、重大性を低減し、その対応と復旧にかかるコストを削減することができます。データの収集、集約、配信をエンドポイントまで分散させることで、Tanium のアーキテクチャは LAN トラフィックの速度を利用し、クライアントからサーバーへの直接通信を削減します。これにより、データベースの肥大化、接続の過負荷、

WAN セグメント間の膨大なトラフィックによる非効率性を排除することができます。Tanium を使用することで、セキュリティインシデント対応チームは何千ものエンドポイントに存在する脅威を特定し、修復することができます。IT 運用チームは短期間で世界中の資産のインベントリを正確に実施し、管理することができます。

- **セキュリティチームとオペレーションチームのコラボレーションを促進。** Tanium の広範なモジュールにより、セキュリティチームとオペレーションチームを共通のプラットフォームで簡単に統合することができます。IT 運用チームとセキュリティチームが共通のコンソールとエンドポイントデータセットを使用して作業することで、スピードとスケールが向上したため、組織内でのクロストレーニングやコラボレーションが一般的になっているとインタビュー対象者は述べています。

柔軟性

柔軟性の価値は、顧客ごとに異なります。顧客が Tanium のエンドポイント管理およびセキュリティプラットフォームを導入し、後に追加の用途やビジネスチャンスを実現するシナリオは複数あります。

- **IT の健全性を向上。** Tanium は、組織が環境の IT 健全性を継続的に改善するための基盤を提供します。企業規模でのソフトウェア管理、ソフトウェアの迅速なインストール・更新・削除、OS やアプリケーションのパッチの配布・管理・報告などを行い、裏側で働く軽量エージェントがアプリケーションを更新するため、他のビジネスユニットの業務に影響を与えないペースで柔軟に進めることができます。
- **企業固有の用途に合わせたモジュールのカスタマイズ能力を獲得。** アグリビジネス業界のセキュリティ担当者は、Tanium は企業特有の問題を解決するために、特定のモジュールをカスタマイズできる柔軟性を備えていると述べています。「モジュール作品以外では、自分たちでカスタマイズしたソリューションをたくさん作ってきました。当社は、エンドポイント上にある知的財産の特定と抽出に役立つ独自のソリュー

ションを構築しました。特定の文書、スプレッドシート、ダイアグラム、または CAD 図面に関するレポートを作成します。それぞれのエンドポイントでのファイル名と、ファイルサイズの合計を算出します。そうすれば、会社を売却したりスピノフしたりする際に、サーバーやワークステーション、ラップトップなどに眠っている知的財産をすべて報告できるだけでなく、そうした情報を大規模に抽出することも可能になります。さらに、エンドポイントにあるすべてのドキュメントをレポートするソリューションも構築しました。暗号化され圧縮されたコンテンツに詰め込み、そのコンテンツファイルをエンドポイントから集中管理されたストレージに引き出します。」

柔軟性は特定プロジェクトの一環として評価すれば数量化できます（詳細は [付録 A](#) を参照してください）。

コスト分析

■ モデル組織に適用される定量的コストのデータ

総コスト							
基準	コスト	初期	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Dtr	Tanium ソフトウェア コスト	0ドル	525,000 ドル	525,000 ドル	525,000 ドル	1,575,000 ドル	1,305,597 ドル
Etr	社内企画・トレーニング・ 導入コスト	75,504 ドル	13,728 ドル	13,728 ドル	13,728 ドル	116,688 ドル	109,644 ドル
	総コスト（リスク調整 済み）	75,504 ドル	538,728 ドル	538,728 ドル	538,728 ドル	1,691,688 ドル	1,415,241 ドル

TANIUM ソフトウェアコスト

エビデンスとデータ。 インタビュー回答者は、自分たちの組織が Tanium の投資に関連して、ソフトウェアの代金を支払っていると述べています。

モデリングと前提条件。 このコストをモデル化するために、Forrester はモデル組織について次のように仮定しています。

- モデル組織は中堅企業で、その環境は Tanium Core と 5 つの追加モジュールのバンドルで管理することができます。
- Tanium Core は、6 か月以内に組織内のすべてのエンドポイントを識別するために必要なすべてのディスカバリーを実行します。
- 個々のモジュールの平均コストには、ほとんどばらつきがありません。
- 年間契約では、追加モジュール 1 つにつき 6 万ドルかかります。

リスク。 このコストに影響を与える可能性のある変数には、以下のものが含まれます。

- 組織がその業界内でエンドポイントやアプリケーションを効果的に管理するために必要な追加モジュールの数。
- 均等な価格ではないため、組織が必要とするモジュールの種類。

結果。 これらのリスクを考慮し、Forrester はこのコストを 5% 上方修正し、3 年間のリスク調整済み PV 総額（10% で割引）を 130 万ドルとしました。

Tanium ソフトウェアコスト						
基準	評価項目	ソース	初期	1年目	2年目	3年目
D1	Tanium Core	インタビュー	0ドル	200,000ドル	200,000ドル	200,000ドル
D2	5つのモジュールで構成されるオペレーション/セキュリティバンドル	インタビュー	0ドル	300,000ドル	300,000ドル	300,000ドル
Dt	Tanium ソフトウェアコスト	D1+D2	0ドル	500,000ドル	500,000ドル	500,000ドル
	リスク調整	↑5%				
Dtr	Tanium ソフトウェアコスト (リスク調整済み)		0ドル	525,000ドル	525,000ドル	525,000ドル
3年間の合計：1,575,000ドル			3年間の現在価値：1,305,597ドル			

社内企画・トレーニング・導入コスト

エビデンスとデータ。 インタビュー回答者は Tanium を導入するための社内コストが発生したと述べていました。彼らは次のように話しています。

- ハードウェアと POC のデモの平均コストは 6 万ドルでした。
- 彼らの組織は、展開の初期設定段階で平均 3 人の FTE に権限を委譲しました。
- FTE は、配備期間中、それぞれ平均 60 時間勤務しています。

モデリングと前提条件。 このコストをモデル化するために、Forrester は、モデル組織について次のように仮定しています。

- FTE の全経費込の時給は 48 ドルです。
- プラットフォームの使用やアップグレードのためのトレーニングに、FTE1 人あたり週 1 時間費やしています。

- Tanium を操作する 3 人の FTE のバックアップとして、さらに 2 人のスタッフが毎週トレーニングに参加しています。

リスク。 このコストに影響を与える可能性のある変数には、以下のものが含まれます。

- FTE の給与率。
- FTE のスキルと、プラットフォームを適切に操作するために必要なトレーニングの量。
- 組織の環境の複雑さと、エンドポイントを効果的に管理し保護するために必要な FTE の人数。

結果。 これらのリスクを考慮するために、Forrester はこのコストを 10% 上方調整し、リスク調整後の 3 年間の現在価値 (PV) 総額をおよそ 110,000 ドルとしました。

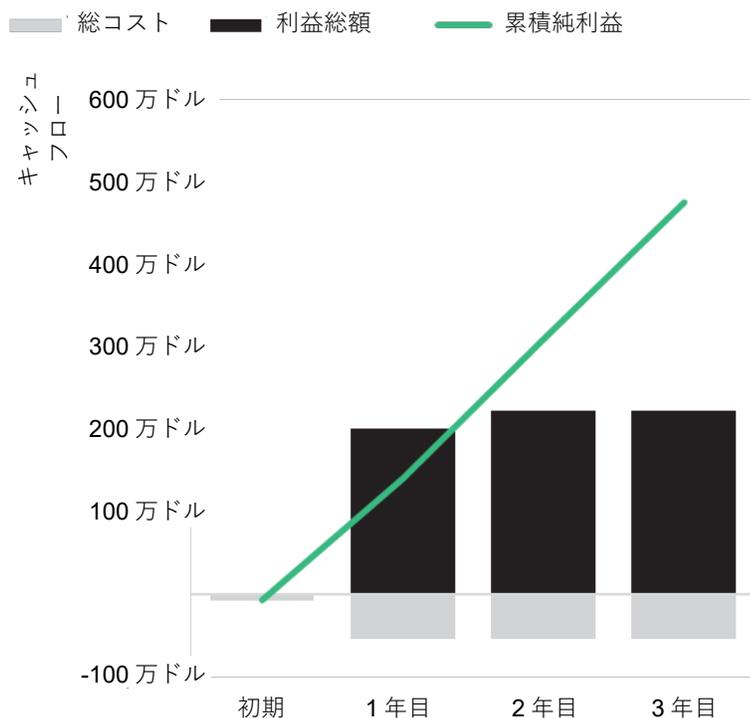
社内企画・トレーニング・導入コスト

基準	評価項目	ソース	初期	1年目	2年目	3年目
E1	ハードウェアと POC の初期コスト	インタビュー	60,000 ドル	0 ドル	0 ドル	0 ドル
E2	使用した主な従業員数	インタビュー	3	5	5	5
E3	FTE の費やした時間 (時間数)	インタビュー	60	52	52	52
E4	FTE の平均時間単価	インタビュー	48 ドル	48 ドル	48 ドル	48 ドル
E5	企画・トレーニング・導入	$E3 * E4 * E5$	8,640 ドル	12,480 ドル	12,480 ドル	12,480 ドル
Et	社内企画・トレーニング・導入コスト	$E1 + E5$	68,640 ドル	12,480 ドル	12,480 ドル	12,480 ドル
	リスク調整	↑10%				
Etr	社内企画・トレーニング・導入コスト (リスク調整済み)		75,504 ドル	13,728 ドル	13,728 ドル	13,728 ドル
3年間の合計：116,688 ドル			3年間の現在価値：109,644 ドル			

財務状況概要

リスク調整後の3年連結評価

キャッシュフローチャート（リスク調整済み）



「利益」と「コスト」のセクションで計算された経済的影響を使用して、このモデル組織の投資に対するROI、NPVおよび回収期間を決定できます。Forresterは、この分析で年10%の割引率を想定しています。

これらのリスク調整後のROI、NPV、回収期間の値は、「利益」と「コスト」の各セクションの未調整結果にリスク調整因子を適用することで決定されます。

キャッシュフロー分析（リスク調整済み推定値）

	初期	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
総コスト	(75,504 ドル)	(538,728 ドル)	(538,728 ドル)	(538,728 ドル)	(1,691,688 ドル)	(1,415,241 ドル)
総利益	0 ドル	2,008,240 ドル	2,220,740 ドル	2,220,740 ドル	6,449,720 ドル	5,329,470 ドル
純利益	(75,504 ドル)	1,469,512 ドル	1,682,012 ドル	1,682,012 ドル	4,758,032 ドル	3,914,229 ドル
投資収益率 (ROI)						277%
回収期間						6 か月未満

付録 A : Total Economic Impact (TEI、総経済効果)

Total Economic Impact (TEI) は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値をクライアントに提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要なステークホルダーに対して、IT イニシアチブの具体的な価値を説明し、根拠を示した上で実現に役立てることができま

TOTAL ECONOMIC IMPACT の手法

利益とは、製品がビジネスにもたらす価値を意味します。TEI 手法では、利益の測定とコストの測定に同じ比重を置き、技術が組織全体に与える影響を徹底的に評価することが可能になります。

コストでは、製品の価値、つまり利益を提供するために必要なすべての経費が考慮されます。TEI でのコスト区分には、ソリューションに関連して継続的に発生するコストに対する既存環境上の増分コストが含まれます。

柔軟性とは、すでに行われた当初投資の上に構築される、将来の追加投資で取得できる戦略的価値のことです。その利益を享受できるキャパシティがあるということは、見積り可能な現在価値 (PV) があることを意味します。

リスクとは、利益とコストの見積もりの不確かさを測定したもので、1) 見積もりが初期の予想に見合う可能性と、2) 時間の経過と共に見積もりが追跡される可能性が考慮されます。TEI ではリスク因子は「三角分布」に基づいています。

当初投資の欄には、「時間 0」、すなわち 1 年目の始まりに発生するコストが記載されます。これらのコストには割引率は適用されません。その他すべてのキャッシュフローには、年度末の割引率が適用されます。現在価値 (PV) は、それぞれの総コストおよび利益の見積もりに対して計算されます。サマリーテーブルの正味現在価値 (NPV) は、当初投資と各年の割引後のキャッシュフローの合計になります。総利益、総コスト、キャッシュフローの各表の合計金額および現在価値については、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。



現在価値 (PV)

特定の利率 (割引率) を使用した場合の (割引後の) コストおよび利益見積もりの現在価値。コストおよび利益の現在価値 (PV) は、キャッシュフローの総正味現在価値 (NPV) に適用されます。



正味現在価値 (NPV)

特定の利率 (割引率) を使用した場合の (割引後の) 将来の正味キャッシュフローの現在価値。プロジェクトの正味現在価値 (NPV) の値が正であれば、他のプロジェクトの NPV がそれより高くない限り、通常は投資すべきであると考えられます。



投資利益率 (ROI)

パーセンテージで表したプロジェクトの期待利益。ROI は、純利益 (粗利益からコストを引いた値) をコストで割ることによって求められます。



割引率

キャッシュフロー分析において現金の時間的価値を考慮に入れるために適用する利率。通常、企業は 8%~16% の割引率を適用します。



回収期間

投資の損益分岐点です。純利益 (利益からコストを引いた値) が初期投資額またはコストと等しくなる時点を指します。

付録 B：脚注

¹ Total Economic Impact は、Forrester Research が開発した手法で、企業のテクノロジーに関する意思決定プロセスを強化し、ベンダーが自社の製品やサービスの価値を顧客に伝えることを支援するものです。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要なステークホルダーに対して、IT イニシアチブの具体的な価値を説明し、根拠を示した上で実現に役立てることができます。

FORRESTER®